

施策番号	1801	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	区民の文化・芸術への参加意欲を高め、地域文化・芸術を創造します	最近1年間に葛飾区内の音楽や美術などの催し物に行ったことのある区民の割合	%	目標	26.0	19.0	20.5
				実績	19.8	18.4	6.5
		鑑賞事業の入場率	%	目標	78.0	80.0	80.0
				実績	86.4	87.6	49.6
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	文化芸術創造のまちかつしか推進事業	文化国際課	◎	1075
		文化会館・亀有文化ホール管理運営	文化国際課	◎	1077
		文化芸術創造事業運営	文化国際課	◎	1079
		合唱祭	生涯学習課	◎	1081
		区民総合芸術祭典	生涯学習課	◎	1083
		区民文化祭	生涯学習課	◎	1085
		文化財保護普及・啓発	生涯学習課	◎	1087
		JOBANアトライン協議会	文化国際課	○	1089
		美術品展示器具設置	文化国際課	○	1090
		文化団体助成	文化国際課	○	1091
		発掘調査等文化財保護	生涯学習課	○	1092
		文化協会助成	生涯学習課	○	1093
		文化財保護奨励金	生涯学習課	○	1094
		文化財保護審議会	生涯学習課	○	1095

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	文化芸術創造のまちかつしか推進事業						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	平成12年度						個別計画	—		
根拠法令	—									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(3)
事務事業目的	区民が文化芸術に触れ親しみ、区民文化を向上する。									
実施内容	<p>多くの区民に文化芸術活動への参加機会を提供するため、区民ニーズや地域の特性を踏まえた区民参加型事業を実施する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>○かつしかオリジナル作品公募事業 下町情緒あふれる人情豊かなまち葛飾の良さを多くの人に知っていただくとともに、葛飾区から新たな文化を発信するため、葛飾区を舞台としたオリジナル文学作品を公募し、作品集を出版するとともに、大賞作品を舞台演劇等により発表する。</p> <p>○公募型文化芸術事業（地域コンサート） 音楽によって地域文化を活性化するため、地域の自治会、商店街、NPO等の団体が主催する音楽イベントを企画募集し、審査のうえ事業費の一部を助成する。</p> <p>○公募型文化芸術事業（アートイベント助成） 文化・芸術による地域文化の活性化を目的とした音楽以外のアートイベントを実施する団体に対し、事業費の一部を助成する。</p> <p>【過去の改善実績】 指定管理者との週次・月次会議、四半期報告・年度報告や随時の会議において、指定管理者が行う事業の課題等を分析し、参加した区民の満足度や経費の効率性、文化芸術性の向上などの観点から、的確なアドバイスを実施した。このことにより、年度を通じて事業が円滑に進められ、参加者満足度の維持・向上につなげている。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	かつしかオリジナル作品公募事業及び公募型文化芸術事業（地域コンサート）の延べ区民参加者数	参加者アンケートより算出	人	目標	30,000	30,900	31,800
				実績	33,558	27,202	146
成果	公募型文化芸術事業（地域コンサート）の参加者満足度	参加者アンケートより算出	%	目標	85.0	85.5	86.0
				実績	81.3	77.0	88.2
成果	かつしかオリジナル作品公募事業及び公募型文化芸術事業（地域コンサート）の区民参加率	（参加区民数／参加者数）×100	%	目標	74.0	74.5	70.0
				実績	68.3	69.2	54.5
活動	かつしかオリジナル作品公募事業	—	—	目標	公演	作品募集	脚本化
				実績	公演	作品募集	脚本化
活動	公募型文化芸術事業（地域コンサート、アートイベント助成）の事業数	—	事業	目標	12	12	14
				実績	12	9	1
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	27	28	166
	一般財源 (a)	22,250	18,651	12,792	
支出	直接事業費 (b)	20,302	16,704	11,008	
	職員人件費 (c)	1,975	1,975	1,950	
		業務量（人）	0.25	0.25	0.25
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	250	225	238	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	250	225	238
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	22,527	18,904	13,196		

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	49,133	39,295	268
単位あたり区単コスト (a/g)	453	475	47,731
単位あたりコスト (f/g)	458	481	49,239

実施状況に対する評価	<p>かつしかオリジナル作品公募事業は、「第4回かつしか文学賞」事業の2年目となり、本年度は作品の舞台化のための公演キャストの募集を行った。応募人数は109名（うち区民51名／区民率46.8%）で、オーディション参加者数99名、合格者32名（うち区民は13名、区民率40.6%）だった。来年度には、かめありリリオホールで舞台版「立石ロッキー」公演を行い、公演成功に向けてスタッフ・キャストとともに稽古に取り組んでいく。</p> <p>公募型文化芸術事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定していた13事業のうち実施できたのは「立石びいこ音楽祭」（地域コンサート）1事業のみで、残りは全て中止となった。まだしばらくの間、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが想定されるため、事業が実施できるよう主催者を支援していきたい。</p>
今後の方向性【継続】	<p>かつしかオリジナル作品公募事業は、3か年で1事業期間である。現在は通算4回目の公募事業であるが、作品の舞台化に向けて作業を進めていく。これまでの実績・成果を踏まえ、広報宣伝や実施時期などについて、より効果的な方法を検討しつつ継続して実施していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	文化会館・亀有文化ホール管理運営						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	平成4年度						個別計画	—		
根拠法令	葛飾区文化会館条例、葛飾区亀有文化ホール条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(1)
事務事業目的	文化振興及び国際交流の推進拠点として、施設を快適で安全に利用することができる。									
実施内容	<p>【概要】 文化会館及び亀有文化ホールの管理・運営</p> <p>【活動内容】 ①文化会館及び亀有文化ホールの維持管理 ②鑑賞事業運営 ③施設の貸出 ④文化会館本館大規模改修工事 ⑤文化会館来客用駐車場運営等</p> <p>【過去の改善実績】 ・指定管理者制度の導入（平成18年度から導入） ・指定管理者との定例会議において、公演入場者数及び施設利用率の実績把握に努めるとともに、さらなる利用者増を目指して区民への広報宣伝方法の工夫や接遇向上への取り組み等を指導した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	稼働率	年間利用区分数/年間利用可能区分数×100	%	目標	50	50	50
				実績	51	48	23
活動	入場率	総入場者数/席数	%	目標	78.0	80.0	80.0
				実績	86.4	87.6	49.6
活動	年間鑑賞事業公演数	—	件	目標	72	70	74
				実績	72	67	53
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	12,523
		その他	0	0	1,422,000
	一般財源 (a)	580,781	775,448	656,183	
支出	直接事業費 (b)	575,646	770,313	2,085,636	
	職員人件費 (c)	5,135	5,135	5,070	
		業務量 (人)	0.65	0.65	0.65
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	650	585	618	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	650	585	618
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	581,431	776,033	2,091,324		

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	管理対象面積 (㎡)		
実績数値 (g)	23,811	23,811	23,811
単位あたり区単コスト (a/g)	24,391	32,567	27,558
単位あたりコスト (f/g)	24,419	32,591	87,830

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—

事務事業評価表

事務事業名	文化芸術創造事業運営					担当部	地域振興部	関係課	—	
						担当課	文化国際課			
開始年度	平成2年度					個別計画	—			
根拠法令	—									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(2)
事務事業目的	区民が文化芸術に触れ親しみ、区民文化を向上する。									
実施内容	<p>【概要】 区民ニーズを踏まえた文化芸術体験講座等ワークショップの企画実施や、アマチュア演奏団体の活動支援などにより、多くの区民に文化芸術活動への参加機会や、文化芸術に触れ親しめる機会を提供する。</p> <p>【活動内容】 ○区民参加型体験講座 ○区民参加型ワークショップ事業 ○区内各施設での公演等のアウトリーチ事業 ○美術等の展示事業 ○シンフォニーヒルズ少年少女合唱団の育成 ○葛飾吹奏楽団・葛飾フィルハーモニー管弦楽団の活動支援</p> <p>【過去の改善実績】 ・指定管理者制度の導入（平成18年度導入） ・指定管理者との週次・月次会議、四半期報告・年度報告や随時の会議において、指定管理者が行う事業の問題点を分析し、参加区民の満足度や経費の効率性、文化芸術性の向上などの観点に基づき、的確なアドバイスを実施した。このことにより、年度を通じて事業が円滑に進められ、参加者満足度が向上した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	延べ参加者数	—	人	目標	28,800	28,800	28,800
				実績	23,669	21,013	5,606
活動	事業数	文化芸術創造事業数	件	目標	34	34	32
				実績	34	32	22
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	21,271	21,047	19,971
支出	直接事業費	(b)	19,296	19,072	16,071
	職員人件費	(c)	1,975	1,975	3,900
		業務量（人）	0.25	0.25	0.50
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	250	225	475
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	250	225	475
		（控）コスト対象外	0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	21,521	21,272	20,446	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	23,669	21,013	5,606
単位あたり区単コスト	(a/g)	899	1,002	3,562
単位あたりコスト	(f/g)	909	1,012	3,647

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—

事務事業評価表

事務事業名	合唱祭						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和63年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(2)	
事務事業目的	<p>練習成果の発表の場と交流機会を提供することによって、団体の出演意欲を持たせるとともに活動の活性化を促し、区民の合唱技術の向上につなげる。また、合唱祭への来場を促進し、合唱活動を通して区民の文化活動を振興する。</p>										
実施内容	<p>葛飾区合唱連盟と共催で開催。 ○年に1回、毎年6月に開催 例年の6月開催のほか、会場となるかつしかシンフォニーヒルズが令和3年3月から9月にかけて改修となるため、令和3年度の合唱祭を令和3年2月に変更して開催することとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月、2月とも中止となった。</p> <p>○役割分担 区分担…会場使用にかかる経費、講師謝礼、広報活動 合唱連盟分担…プログラム作成、運営にかかるその他経費、実際の運営</p> <p>○運営 運営は、合唱連盟役員や出演団体が自主的に分担し、開催している。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	来場者数	合唱祭への来場者・参加者	人	目標	1,400	1,400	2,800
				実績	1,383	1,328	—
活動	出演団体満足度	合唱祭出演者に実施しているアンケート結果	%	目標	85	85	85
				実績	82	88	—
活動	出演団体数	合唱祭への出演団体	団体	目標	35	35	70
				実績	35	32	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	3,255	3,296	1,764
支出	直接事業費	(b)	885	926	204
	職員人件費	(c)	2,370	2,370	1,560
		業務量（人）	0.30	0.30	0.20
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	300	270	190
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		300	270	190
	（控）コスト対象外		0	0	0
トータルコスト		(f=b+c+d+e)	3,555	3,566	1,954

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	来場者数（人）			
実績数値	(g)	1,383	1,328	—
単位あたり区単コスト	(a/g)	2,354	2,482	—
単位あたりコスト	(f/g)	2,570	2,685	—

実施状況に対する評価	<p>合唱祭は、合唱活動の練習成果の成果の場として、例年30団体程度、のべ600人～700人程度出演しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は開催を中止とした。</p> <p>出演者は65歳以上が過半数を占めており、参加者の高齢化が進展している一方で、区内の小学校のクラブが出演する等、若年層の参加も増加しつつあり、幅広い年齢層が参加するイベントとなっている。</p> <p>合唱祭当日は、参加団体が運営の役を分担して担っており、区と協働して実施していくとの意識も高い。合唱連盟及び参加団体とは実施後に、運営についての意見交換（反省会）を行って、開催方法の改善にも取り組んでいる。</p>
今後の方向性【継続】	<p>例年、多くの来場者に鑑賞していただき、合唱に興味をもってもらうことを目標として挙げているが、来場者数が思うように伸びていないため、引き続き周知の取り組みを強化していく。</p> <p>参加者の高齢化等により、次世代の担い手不足の不安を合唱連盟側が抱いているため、合唱祭への若年層の参加者を募るとともに、将来に向けて合唱活動が発展することができるような催しの開催や、合唱活動へのきかけづくりについても、合唱連盟側と協議を行っていきたい。</p> <p>また、運営側の高齢化や人員不足に伴い、準備や当日の運営に対する負担感が増しているため、負担の解消に向けた取り組みについても検討を行う。</p>

事務事業評価表

事務事業名	区民総合芸術祭典						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和57年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(3)	
事務事業目的	日頃から熱心に文化芸術活動に取り組んでいる会員が、総合芸術祭典の開催によって、目標を持って更に活発な活動をする。各団体が協力し合い事業を主体的に実施することで、各団体間の交流を深め、文化活動を活性化する。区民に鑑賞してもらうことを通じ、会員が区民の文化芸術活動に貢献する。										
実施内容	<p>【概要】 文化協会との共催事業である総合芸術祭典を区民文化振興の観点から支援し、経費の一部を負担する。</p> <p>【活動内容】 ○主催 葛飾区文化協会 葛飾区教育委員会 ○実施時期 6月 ①発表の部（葛西囃子・吟剣詩舞道・日本舞踊・民謡民舞2団体・謡曲・新舞踊・三曲） ②展示の部（書道・華道・俳句・短歌・川柳）（茶席）展示の部と同時開催（写真） ③大会の部 囲碁・将棋 ○参加者 発表・展示の部は文化協会加盟団体会員、大会は区民一般参加あり ○周知方法 広報紙他 ○費用 区負担（プログラム印刷、会場・付帯設備使用料）協会負担（ポスター印刷他） ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため開催中止。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	来場者数	—	人	目標	1,600	1,700	1,600
				実績	1,716	1,575	—
活動	参加者満足度	(好評回答数/アンケート回収数) × 100	%	目標	90	90	90
				実績	87	84	—
活動	参加者数	—	人	目標	720	720	720
				実績	539	478	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	2,910	2,882	1,560	
支出	直接事業費 (b)	540	512	0	
	職員人件費 (c)	2,370	2,370	1,560	
		業務量（人）	0.30	0.30	0.20
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	300	270	190	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	300	270	190	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,210	3,152	1,750		

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	来場者数（人）		
実績数値 (g)	1,716	1,575	—
単位あたり区単コスト (a/g)	1,696	1,830	—
単位あたりコスト (f/g)	1,871	2,001	—

実施状況に対する評価	<p>区民総合芸術祭典は、葛飾区文化協会に加盟する各団体の発表の場として定着しており、加盟団体の構成員が当日の役割も担う等、文化協会と区との協働による事業としての認識も共有されている。また、開催を楽しみにしている区民も多く見受けられる等、区内の文化振興を図る事業として、その意義は非常に大きい。また、事業の実施にあたっては、共催者である文化協会側と意見を交換しながら、良好に実施できている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため令和2年度は開催中止となった。また、構成員の高齢化や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の減少を余儀なくされている団体も多く見受けられる。</p>
今後の方向性【継続】	<p>今後も葛飾区の文化のすそ野を広げていくことができるよう、また葛飾区文化協会会員の文化芸術活動を支援するため、区民総合芸術祭典を開催していきたい。なお開催にあたっては、手指消毒や検温等、新型コロナウイルスの感染防止に向けた取り組みを行っていく。</p> <p>一方、文化協会加盟団体のうち葛飾区民謡協会が担い手不足の影響等により、令和3年5月に解散・脱退を余儀なくされた。葛飾区の文化活動を担う文化協会の活動が活性化するよう、文化活動を担う団体の活動を紹介する冊子の発行等により、区民の文化活動への参加を促していきたい。</p>

事務事業評価表

事務事業名	区民文化祭						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和30年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(1)	
事務事業目的	<p>区が文化祭という発表の場を提供することによって、文化芸術活動に日頃から取り組んでいる区民が、目標を持って更に生き生きと活動できる。区民が文化祭に参加・鑑賞することによって身近な文化・芸術に親しみ、日本の伝統文化の継承活動に対する関心や参加意欲を高めていく。</p>										
実施内容	<p>【実施内容】 ○10月初旬～11月中旬までの約40日間、17種目に分けて実施 ○文化協会加盟17団体との共催実施（発表・展示・大会等）、葛飾区合唱連盟との共催実施（合唱の部）、その他の種目の発表の場（フリーステージ）は区主催 ○リリオホール・シンフォニー・テクノプラザ・3地区センターの施設を使用 ○賞状・トロフィーの授与あり（10部門） ○周知方法 広報紙他 ○募集方法 文化協会加盟団体種目は各団体において、その他は生涯学習課 ○費用負担 区負担分（会場使用料、ポスター等の印刷、謝礼等報償費、設営委託料等） 参加団体負担分（出展・出品にかかる経費） ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、開催が一部中止となった大会がある。 開催したイベント：写真展、新舞踊大会、短歌大会、フリーステージ、謡曲大会、合唱の部、文芸展 中止したイベント：民謡民舞大会（協会・連盟）、川柳大会、書道展、三曲大会、吟剣詩舞道大会、日本舞踊大会、囲碁大会、俳句大会、将棋大会</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	来場者数	—	人	目標	6,000	6,000	6,000
				実績	5,122	3,773	1,017
活動	参加者満足度	(好評アンケート数/アンケート回収数) × 100	%	目標	85	90	90
				実績	86	89	87
活動	種目数	—	種目	目標	17	17	17
				実績	17	16	6
活動	参加者数	—	人	目標	3,400	3,400	3,400
				実績	2,712	2,704	751
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	8,514	8,575	6,853
支出	直接事業費	(b)	4,169	4,230	3,022
	職員人件費	(c)	4,345	4,345	3,510
		業務量（人）	0.55	0.55	0.45
	間接費	(d)	0	0	321
	調整額	(e)	550	495	428
	減価償却費		0	0	0
	金利		0	0	0
	退職給与引当		550	495	428
	(控) コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	9,064	9,070	7,281

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	来場者数（人）			
実績数値	(g)	5,122	3,773	1,017
単位あたり区単コスト	(a/g)	1,662	2,273	6,738
単位あたりコスト	(f/g)	1,770	2,404	7,159

実施状況に対する評価	<p>区民文化祭は、葛飾区文化協会に加盟する団体及び葛飾区合唱連盟が個別に大会を実施しており、文化協会や合唱連盟に加盟する会員だけでなく、一般参加者も公募して実施している。一部の大会では優秀な発表者の表彰も行っている。文化・芸術の鑑賞の場として、また自身の発表の場としても、多くの区民が文化・芸術に親しむことができる催しとして定着している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した大会や、一般参加者を公募をしない大会、一般公開を行わない大会があったことから、参加者数や来場者数、種目数が減少となっている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>葛飾区文化協会や葛飾区合唱連盟の会員は、高齢化や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により減少が続いており、区内の文化・芸術活動を活性化させるため、一般参加者が文化協会や合唱連盟の活動に理解を示し、文化協会や合唱連盟への参加を促す取り組みが必要であると考えている。</p> <p>今後も引き続き、区民文化祭の開催周知活動をとおして、区内の文化・芸術活動への参加を促していくとともに、文化活動を担う団体の活動を紹介する冊子等を作成・配布することで、新たな参加者や来場者の掘り起こしに取り組んでいく。</p> <p>なお開催にあたっては、手指消毒や検温等、新型コロナウイルスの感染防止に向けた取り組みを行っていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	文化財保護普及・啓発						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	平成3年度						個別計画	—			
根拠法令	文化財保護法										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	9(3)	
事務事業目的	地域の文化財に関する区民の認識を深め、郷土愛を育むとともに、区内の文化財を適切に保護・周知し、後世に伝えていく。										
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護推進委員 区内19地区の自治町会連合会から、各1人ずつ推薦された19人の文化財保護推進委員による文化財愛護思想の普及・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財めぐり（年3回） ・情報誌（かつしかの文化財）発行（年4回） ・文化講座（年1回） ・かつしかFMでの周知放送（年9回） ○埋蔵文化財の周知 埋蔵文化財保護の手引、遺跡地図の作成・配布、広報かつしかでの記事掲載及びかつしかFMでの埋蔵文化財関係の放送（年3回） ○葛飾柴又の文化的景観の国の重要文化的景観選定に向けた取組み 平成22年度：予備調査 平成23年度～26年度：柴又地域文化的景観調査委員会による史料調査、報告書刊行（26年度） 平成27年度・28年度：保存計画策定、重要文化的景観（重要な構成要素）に選定されることについての同意取得、保存のルール・体制作り等を柴又地域文化的景観検討委員会で検討 平成29年7月：国（文部科学大臣）への重要文化的景観に係る選定申出 平成30年2月：重要文化的景観に選定 令和元年～：整備計画策定 										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	報告書、情報誌の発行部数	文化財に関する報告書、情報誌の発行部数	部	目標	14,000	14,000	14,000
				実績	14,000	10,500	14,000
活動	文化財関係の刊行物の発行回数	文化財情報誌等の発行回数	回	目標	4	4	4
				実績	4	3	4
活動	講座等参加者数	文化的景観説明会・フォーラム、文化財めぐり等の参加者数	人	目標	500	500	500
				実績	233	120	—
活動	講座等の開催回数	文化的景観説明会・フォーラム、文化財めぐり等の開催回数	回	目標	10	10	10
				実績	4	3	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	2,162	3,143	2,097
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	301	304	47
	一般財源 (a)	17,285	14,792	16,248	
支出	直接事業費 (b)	15,808	14,518	7,492	
	職員人件費 (c)	2,370	1,975	8,580	
		業務量（人）	0.30	0.25	1.10
	間接費 (d)	1,570	1,746	2,320	
	調整額 (e)	300	225	1,045	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	300	225	1,045
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	20,048	18,464	19,437	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	講座等参加者数（人）		
実績数値 (g)	233	120	—
単位あたり区単コスト (a/g)	74,185	123,267	—
単位あたりコスト (f/g)	86,043	153,867	—

実施状況に対する評価	<p>文化財めぐり及び文化講座については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で中止した。</p> <p>また、かつしかFMで年8回文化財をテーマとしたミニ番組を放送するとともに、情報誌「かつしかの文化財」を年4回発行し、区内の文化財について区民への周知を図った。</p> <p>なお、これらの事業については文化財保護推進委員の意見を取り入れており、会議を通じて委員との情報共有を密に行っているところであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、会議の開催を中止し、「かつしかの文化財」の執筆に携わっていただき、かつしかFMのミニ番組については職員の対応により実施した。</p> <p>葛飾柴又の文化的景観については、整備計画策定のための地元住民とのワークショップを行っていく予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、個別ヒアリングを実施した。</p> <p>文化財めぐりは、令和2年度は中止したものの、これまで話題性の高いテーマを取り上げる等の工夫し、多くの区民に参加してもらっていることから、地域の文化財に関する区民の認識を深め、郷土愛を育むとの事業目的は達成できていると考えている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>令和2年度に中止となった文化財めぐりの内容を令和3年度以降に引き継ぐこととする。</p> <p>また、地域に埋もれた区指定・登録の文化財になりえる可能性のある資料等について、後世に残していくことと、地域文化財としての活用による地域活性化を目的に「地域文化財制度」を創設する。</p> <p>今後、文化財ごとに、文化財の有効活用（観光、街づくり推進）や適切な維持管理のルールを作成するため、専門家を交えた検討を行うほか、子どもたちの郷土学習における実物の教材としての文化財の活用を促進し、文化財を通して葛飾の歴史を感じ、学ぶことのできる活用方法に取り組んでいく。</p> <p>文化的景観については、整備計画策定のためのスケジュールに沿って、地元の意見を取り入れるためのワークショップの開催や、重要な構成要素保存・活用のための指針などを検討して、整備計画を策定する予定。</p>

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
JOBANアートライン 協議会				地域振興部 文化国際課		—	収入	特定財源	0	0	0	イベント開催数	回	1	1	—
一般	2	3	6	1(6)		一般財源		795	795	430						
【概要】 アートを基調とした常磐線沿線情報の共有と連携環境の整備により、常磐線沿線のイメージアップ、活性化、情報発信力の強化、交流人口の拡大を図るため設立された協議会。総会を年1回（会員：葛飾区長）、幹事会を年3回（会員：文化国際課長）開催した。 構成団体：台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市（事務局）、東京藝術大学、JR東日本東京支社。 【主な活動内容】 ①「親子で楽しめるJOBANアートガイド」の増刷 常磐線沿線のアート資源の情報が分かるPR冊子を制作し、JR常磐線駅等で配布している。 ②情報の共有・発信 各構成団体で実施するアートイベント等の情報や協議会のPVをHP等で情報発信している。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アートアンブレラ（JR東日本の引き取り手のない忘れ物傘に、ペイントを施し再利用するアートイベント）やスタンプラリー等の集客イベントは実施しなかった。							支出	事業費	400	400	40	—	—	—	—	—
								人件費	395	395	390					
								業務量(人)	0.05	0.05	0.05					
								間接費	0	0	0					
								調整額	50	45	48					
							トータルコスト (a)	845	840	478						
							単位当たり コスト(円) (a/b)	845,000	840,000	—						

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等 (千円)			活動指標 (b)							
	予算説明書 (会計、款、項、目、説明等)			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2				
事業内容														
美術品展示器具設置	地域振興部	文化国際課	—	収入	特定財源	0	0	0	美術品展示か所数	所	7	5	6	
一般 2 3 6	1(4)			一般財源	805	526	445							
<p>区施設の壁面等を、絵画や書、写真等の美術作品の展示場所として区内で活動する美術団体に無償で貸し出している。 美術団体の意向を踏まえながら、施設の管理運営上支障がなく展示が可能な場合にピクチャーレール、照明等を設置して美術作品を展示できるようにする。 美術作品の展示に当たっては、作品を提供する団体と区が覚書を締結して実施し、原則として作品の展示期間は限定、展示作品は展示期間内において複数回展示替えをすることとし、閲覧する区民等が絶えず新鮮な作品を鑑賞できるようにする。 区は、展示作品について区ホームページ等で一般に周知する。 また、区が所有している美術品についても、区民事務所等の区民が多数利用する施設に展示し、定期的に展示替えを行う。</p>				支出	事業費	410	131	55						
					人件費	395	395	390						
					業務量(人)	0.05	0.05	0.05						
					間接費	0	0	0						
					調整額	50	45	48						
				トータルコスト (a)		855	571	493						
				単位当たりコスト(円) (a/b)		122,143	114,200	82,083						

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）						
				担当課													
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																	
事業内容																	
							H30	R1	R2								
											単位	H30	R1	R2			
文化団体助成				地域振興部		—	収入	特定財源	0	0	0	助成件数	件	2	2	2	
				文化国際課				一般財源	1,395	1,395	1,190						
一般	2	3	6	1(5)			事業費	1,000	1,000	800							
<p>【概要】 区民を中心に構成されている葛飾吹奏楽団及び葛飾フィルハーモニー管弦楽団に対して、2団体合わせて100万円(予算額)を限度に、その活動内容・活動量に応じ活動経費の一部を助成する。</p> <p>【手段】 当該年度内の演奏会への出演、コンクールでの成績、区民を対象とした文化芸術講座等の活動実績により、ポイント制で助成金額を積算する。積算額と対象経費の実支出額を比較し、いずれか低い額を助成額とする。</p> <p>○計算方法 予算額×(申請団体獲得点数/全申請団体獲得点数)</p> <p>○ポイント項目(各件数毎に積算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏会等への出演 1点 ・コンクール等への出演(金賞) 3点 ・(銀賞) 2点 ・(銅賞) 1点 ・区民を対象とした文化芸術講座等の実施 1点 ・新型コロナウイルス感染拡大の防止措置として中止したコンクール等を除く演奏会等 0.5点(令和2年度のみ適用) 							支出	人件費	395	395	390						
								業務量(人)	0.05	0.05	0.05						
								間接費	0	0	0						
								調整額	50	45	48						
							トータルコスト	1,445	1,440	1,238							
							(a)										
							単位当たり	722,500	720,000	618,750							
							コスト(円)(a/b)										

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）							H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容																
発掘調査等文化財保護				教育委員会事務 生涯学習課		—	収入	特定財源	2,100	2,362	2,047	試掘調査件数	件	29	26	27
								一般財源	16,198	13,792	13,195					
一般	8	6	1	9(4)			支出	事業費	11,337	11,019	10,952	立会調査件数	件	25	13	9
○葛飾区遺跡調査会への委託 埋蔵文化財の発掘調査及び出土資料等の整理作業と発掘調査報告書の作成、立会調査・試掘調査 ○調査成果の公開 区内施設や区立小中学校への発掘調査報告書の配布								人件費	4,345	5,135	4,290					
							業務量(人)	0.55	0.65	0.55	調整額	550	585	523		
							間接費	2,616	0	0						
							トータルコスト (a)	18,848	16,739	15,765	—	—	—	—		
							単位当たり コスト(円) (a/b)	649,931	643,808	583,870	—	—	—	—		

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
						H30	R1	R2								
									単位	H30	R1	R2				
文化協会助成				教育委員会事務		—	収入	特定財源	0	0	0	文化芸術講座の実施団体数	団体	10	9	6
				生涯学習課				一般財源	1,590	1,590	940					
一般	8	6	1	10(2)		支出	事業費	800	800	550	文化協会加盟団体数	団体	17	17	17	
葛飾区文化協会の次の事業に対して補助金を交付する。 ①文化祭の共催 ②区主催の各講習会、イベント等の実施における講師の派遣 ③区民が参加しやすい文化協会づくり ④総合芸術祭典の実施 ⑤文化芸術講座の実施 ⑥福祉施設等への訪問活動 ⑦文化協会だよりの発行により区民への文化・芸術活動のPR補助 【基準】 ①申請に基づき、予算の範囲内で補助対象経費（協会事業費及び加盟団体事業費交付金）の1/2を限度に助成。（最近は80万円で推移） ②補助に際しては、社会教育法に基づき社会教育委員の会議に付議し、承認を得ている。							人件費	790	790	390						
						業務量(人)	0.10	0.10	0.05							
						間接費	0	0	0							
						調整額	100	90	48							
						トータルコスト(a)	1,690	1,680	988							
						単位当たりコスト(円) (a/b)	169,000	186,667	164,583							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
						H30	R1	R2								
										単位	H30	R1	R2			
文化財保護奨励金				教育委員会事務 生涯学習課		—	収入	特定財源	0	0	0	指定・登録文化財保護奨励金支出件数	件	175	174	174
								一般財源	1,715	2,100	2,995					
一般	8	6	1	9(5)		支出	事業費	1,320	1,310	1,145	—	—	—	—	—	
							人件費	395	790	1,560						
区指定登録文化財所有者・管理者等に、毎年の申請に基づき、文化財保護奨励金を交付。 区指定文化財：10,000円～50,000円／件 登録文化財：5,000円／件						トータルコスト (a)	業務量(人)	0.05	0.10	0.20	—	—	—	—		
							間接費	0	0	290						
							調整額	50	90	190						
							1,765	2,190	3,185							
						単位当たり コスト(円) (a/b)	10,086	12,586	18,305							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）							H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容																
文化財保護審議会				教育委員会事務 生涯学習課		—	収入	特定財源	0	0	0	会議開催数	回	2	0	0
一般 8 6 1				9(2)		一般財源		2,792	2,744	5,350						
昭和61年度設置 審議会は年2～4回開催、委員数6人 葛飾区指定・登録文化財の候補物件、葛飾区指定・登録文化財の 指定・登録の内容等の見直しについて、調査・審議し、教育委員 会へ建議を行う。また、教育委員会から諮問を受けて葛飾区指 定・登録文化財として新たに指定・登録すること及び既に葛飾区 指定・登録文化財として指定・登録されているものを解除するこ とについて答申を行う。							支出	事業費	165	0	0	—	—	—	—	—
								人件費	1,580	1,580	3,900					
							業務量(人)	0.20	0.20	0.50	—	—	—	—		
							間接費	1,047	1,164	1,450						
							調整額	200	180	475						
トータルコスト (a)	2,992	2,924	5,825	—	—	—	—									
単位当たり コスト(円) (a/b)							1,496,000	—	—	—	—	—	—			

施策番号	1802	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	お互いの国の文化や習慣を理解し、外国人区民、日本人区民が共生する地域社会をつくります	最近1年間に葛飾区内で外国人と交流を持ったことのある区民の割合	%	目標	13.0	12.6	12.7
				実績	12.6	11.0	7.9
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	多文化共生社会の推進	文化国際課	◎	1097
		外国人各種相談	文化国際課	◎	1099

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	多文化共生社会の推進						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	昭和61年度						個別計画	—		
根拠法令	実施内容欄に記載									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	1	説明等	11(3)
事務事業目的	外国人区民と日本人区民が相互に理解し合い、お互いの文化や習慣を尊重し合いながら暮らせる社会を実現する。									
実施内容	<p>友好都市・姉妹都市・交流都市等との交流を進めるとともに、外国人区民と日本人区民の相互理解・交流を深める事業の実施、ボランティア等の多文化共生に資する活動を支援する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>①友好・姉妹都市をはじめとする外国都市との交流…ホームステイや友好訪問団等の派遣・受け入れ事業</p> <p>〔主な交流先〕</p> <p>ウィーン市フロリズドルフ区、北京市豊台区、ソウル特別市麻浦区、マレーシア・ペナン州</p> <p>②語学・多文化理解講座の開催</p> <p>③ボランティア養成講座の開催</p> <p>④民間国際交流団体との協働による国際交流まつり等の実施</p> <p>⑤多文化理解促進のための事業</p> <p>⑥民間国際交流団体への事業費助成</p> <p>⑦情報提供事業など</p> <p>根拠法令</p> <p>葛飾区・ウィーン市フロリズドルフ区友好都市提携宣言、日本国東京都葛飾区と中華人民共和国北京市豊台区との友好交流・協力に関する協定書、日本国東京都葛飾区と大韓民国ソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携締結協定書、葛飾区国際交流活動事業助成金交付要綱、葛飾区国際交流ボランティア事業実施要綱、葛飾区・ウィーン市フロリズドルフ区友好都市交流団体事業助成金交付要綱</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	最近1年間に葛飾区内で外国人と交流を持ったことのある区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	13.0	12.5	12.7
				実績	12.6	11.0	7.9
成果	交流の担い手数	国際交流事業に協力してくれた人の数（国際交流ボランティアとして登録しないものも含む）	人	目標	204	214	225
				実績	275	240	25
活動	外国人区民への情報提供事業	—	事業	目標	4	4	5
				実績	3	5	5
活動	多文化理解講座・交流イベント・オリンピック関連事業等	各種講座等の実施数（連続講座は1回として数える。単年度計）	事業	目標	23	23	23
				実績	23	20	15
活動	団体への助成	—	団体	目標	6	7	8
				実績	7	7	2
活動	友好都市等との受入・派遣事業	—	事業	目標	8	9	6
				実績	5	6	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	23,815	33,094	25,912	
支出	直接事業費 (b)	15,125	14,924	2,122	
	職員人件費 (c)	8,690	18,170	23,790	
		業務量 (人)	1.10	2.30	3.05
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	1,100	2,070	2,898	
	減価償却費	0	0	0	
		金利	0	0	0
		退職給与引当	1,100	2,070	2,898
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	24,915	35,164	28,810		

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数 (事業、交流の担い手数等) (人)		
実績数値 (g)	4,707	2,616	445
単位あたり区単コスト (a/g)	5,059	12,651	58,229
単位あたりコスト (f/g)	5,293	13,442	64,742

実施状況に対する評価	<p>友好・姉妹都市等との交流は、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問団及びホームステイ受入・派遣事業ともすべて中止となった。</p> <p>多文化理解講座では、新型コロナウイルスの影響により「柴又フロリズ通りフェスティバル」「かつしか国際交流まつり」などの事業が中止となったが、十分な感染防止対策を行った上で、各国文化紹介・体験講座やオーストリア大使館と連携したコンサート「ウィーンからの贈りもの」などに取り組み、参加者から高い評価を得た。</p> <p>外国人への情報提供事業として昨年度「外国人向け生活ガイドブック」を改訂したが、「やさしい日本語」を取り入れたことでよりわかりやすくなり、今年度は増刷して発行した。また、区施設の窓口や学校等に配置した携帯型翻訳機の活用を促進するとともに、昨年度に引き続き、職員向けに「やさしい日本語」研修を2回実施し、日本語でのやり取りに不安をもつ外国人区民にも適切なサービスを提供できる環境づくりに取り組んだ。</p>
今後の方向性【継続】	<p>友好都市等との交流事業については、全世界的な新型コロナウイルス感染症の状況が終息した後を考慮しながら、友好・姉妹都市等と葛飾区との交流が途絶えることなく継続できるよう、今後も大使館、関係各課と連携を図りながら交流事業を進めていく。</p> <p>外国人区民人口は増加を続けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により新規来日外国人が激減し、今年度は減少傾向となっている。日本語教育推進法の施行から1年以上経過し、日本語習得の機会の充実をはじめとした多文化共生への取組については一層充実を図るとともに、「やさしい日本語」の活用を含めた外国人区民に伝えるための情報提供ツールもまた多様な情報化社会に適した方法を常に検討しなければならない。</p> <p>国際交流事業も、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客数が限りなくゼロに近くなるなど、状況が悪化している。今後は新たな生活様式を踏まえた事業展開について、指定管理者のノウハウを最大限に活用しながら進め、関係課等と協働で取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	外国人各種相談						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	平成2年度						個別計画	—		
根拠法令	葛飾区外国人生活相談員設置要領、外国人の入国・在留・帰化・就労等手続き相談員取扱い要領									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	1	説明等	11(1)
事務事業目的	外国人区民が、文化や生活習慣などの違いによる悩みや生活上の困ったこと、制度に関する手続き方法や帰化手続きなどを、気軽に相談できるようにする。									
実施内容	<p>【概要】 在区外国人からの区政及び日常生活一般に関する相談（生活相談）のほか、行政書士による在留資格や就労等手続きに関する専門的な相談（就労等手続き相談）に応じ、適切な助言、指導を行うことにより、円滑に日常生活を送れるようにする。</p> <p>【活動内容】 ①生活相談…毎週月曜日12時半～17時に区民相談室にて2カ国語（英語、中国語）で相談受付（予約不要。月曜日が祝休日の場合、火曜日に実施）。区役所関係部署に連絡・案内のほか、関係機関への問い合わせを適宜行い、問題の解決を図る。 ②就労等手続き相談…毎月第2金曜日13時～16時に区民相談室にて簡単な日本語で相談受付（予約不要）。外国人の雇用主である事業者からの相談も受け付ける。</p> <p>【過去の改善実績】 ・東京都行政書士会葛飾支部の協力を得て、令和元年7月から就労等手続き相談を開始した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	相談件数（生活相談）	相談受付状況	件	目標	220	255	190
				実績	188	188	166
活動	相談件数（就労等手続き相談）	相談受付状況	件	目標	—	—	60
				実績	—	23	20
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0	
		都道府県支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	一般財源	(a)	2,326	2,392	2,400	
支出	直接事業費	(b)	1,931	1,997	2,010	
	職員人件費	(c)	395	395	390	
		業務量（人）		0.05	0.05	0.05
	間接費	(d)	0	0	0	
	調整額	(e)	50	45	48	
	減価償却費		0	0	0	
		金利		0	0	0
		退職給与引当		50	45	48
		（控）コスト対象外		0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	2,376	2,437	2,448		

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	相談件数（件）			
実績数値	(g)	188	211	186
単位あたり区単コスト	(a/g)	12,372	11,336	12,903
単位あたりコスト	(f/g)	12,638	11,550	13,161

実施状況に対する評価	<p>就労等手続き相談を併せた外国人生活相談との合計相談件数は年間200件前後を推移している。</p> <p>生活相談員は経験豊富で、行政一般の諸手続きや暮らしにもかかわる相談など様々な相談に対応している。また、相談業務以外にも各窓口職場等からの要請で、戸籍や国保、教育など諸手続きを行う外国人との通訳やかつしかFMの防災情報番組への出演など、実態として活動の幅が広い。</p> <p>就労等手続き相談員は専門家である行政書士が担っており、法律に則った的確な案内を提供している。現状では月1回の実施となっているが、相談ニーズなどを踏まえ、適正な相談サービスの提供に努めていく。</p>
今後の方向性【継続】	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により外国人区民数は減少しているが、相談件数は横ばいとなっており、本事業のニーズは引き続き高いものとする。</p> <p>一層の周知を図るほか、オンラインをはじめとした新たな相談形式も推進するなど、利用しやすいサービス展開を継続して実施していく。</p>